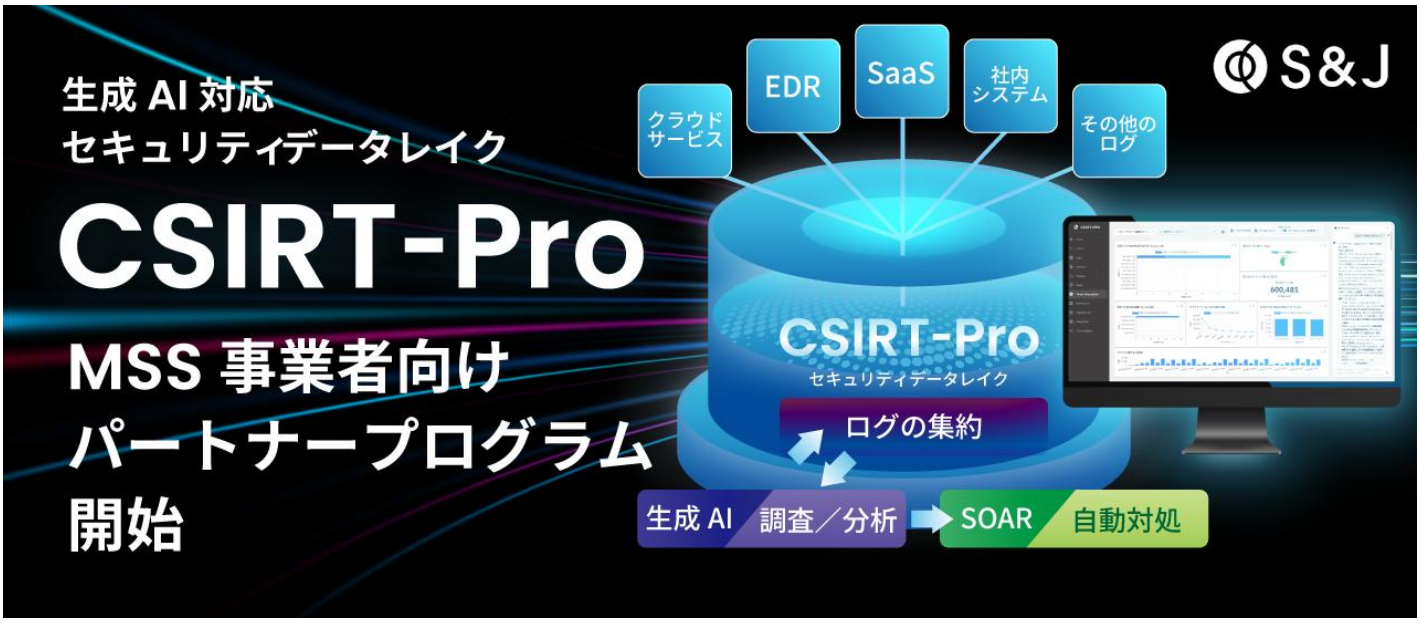
2026 年 11 月 6 日
S & J 株式会社
代表取締役社長　三輪　信雄
東証グロース：5599

S&J、次世代 SIEM「CSIRT-Pro」の MSS 事業者向けパートナープログラムを開始

～生成 AI による調査支援と監視設定の効率化で、アナリストの分析業務への集中と利益率向上を実現、パートナー専用価格や技術支援で立ち上げを支援～

セキュリティ監視サービスやセキュリティ事故対応などのサイバーセキュリティ事業を展開するＳ & Ｊ株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：三輪　信雄、証券コード：5599、以下「S&J」）は、2026 年 9 月に発表した次世代 SIEM として、セキュリティデータレイクを基盤に、SOAR による自動対処と生成 AI による調査支援を統合した「CSIRT-Pro（シーサート・プロ）」について、MSS（Managed Security Service）事業者（※1）による活用を支援する「CSIRT-Pro パートナープログラム（以下、本プログラム）」を創設しました。本プログラムは、2026 年 11 月 5 日より参加の相談受付を開始しました。



本プログラムでは、MSS 事業者が自社のセキュリティ監視サービスの基盤として CSIRT-Pro を活用できるよう、専用の価格体系に加え、価値検証（PoV）や技術支援、紹介・トレーニング資料などを提供します。これにより、複数の顧客環境を分離して管理できる仕組みや、生成 AI による調査支援、監視設定を複数の顧客環境に展開できる機能を活用し、MSS 事業者のサービスの早期立ち上げと継続的な運用を S&J が支援します。

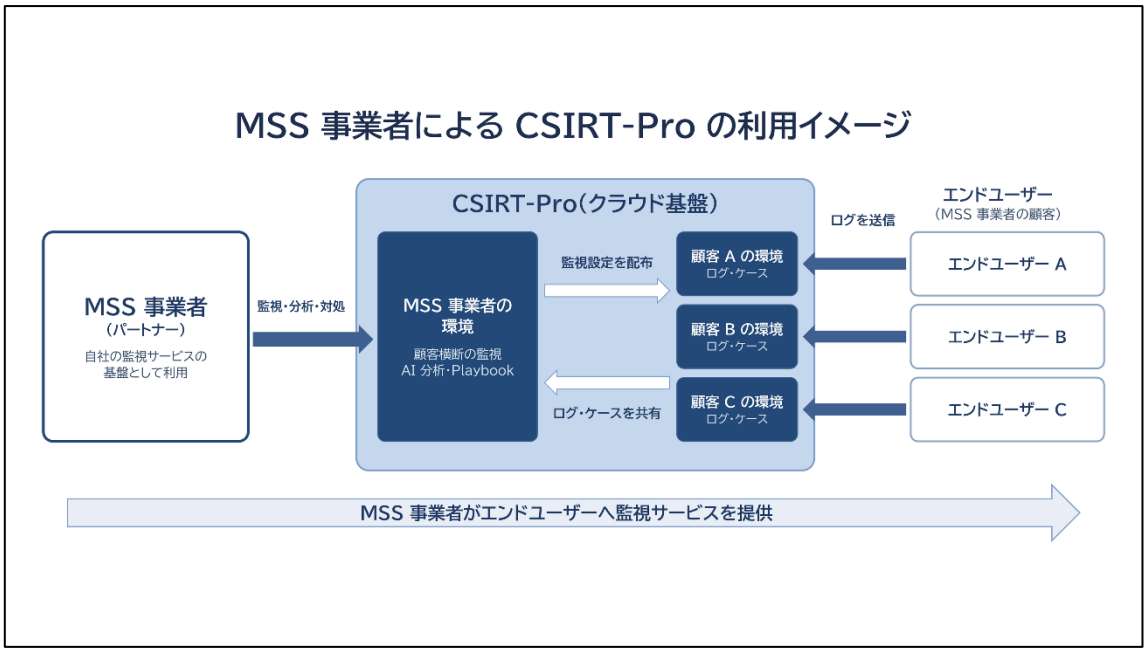


図: MSS 事業者による CSIRT-Pro の利用イメージ

プログラム提供の背景

2026 年秋も、サイバー攻撃による大規模な情報漏えいの公表が相次いでいます。警察庁によると、2026 年上半期のランサムウェア被害は半期として過去最多となり（※2）、AI エージェントを悪用した高速な侵入事例も報告されています。こうした脅威に対抗するには、複数のセキュリティ製品のログを横断的に分析し、迅速な対処につなげる監視体制が重要です。

一方、サイバー攻撃への対応が高度化するなか、MSS 事業者には、顧客ごとの監視環境の構築・運用に加え、増加するアラートの調査・分析を担う専門人材の確保や、セキュリティ基盤の運用コストが大きな課題となっています。また、定型的な一次切り分けや報告書作成といった業務の一部は生成 AI による効率化が進みつつあり、MSS 事業者には、これまで以上に高度な分析や顧客支援といった付加価値の高い役割が求められています。

S&J は「インシデント 0 に、本気。」を掲げ、重大な事業被害につながるセキュリティインシデントのゼロ化に取り組んでいます。MSS 事業者がより多くの企業へ高品質な監視サービスを提供できる環境づくりを通じ、日本企業のサイバーセキュリティ強化に貢献するために本プログラムを開始しました。

MSS 事業者にとってのメリット

S&J が提供する CSIRT-Pro は、セキュリティログの集約・長期保管を基盤に、検知、調査、対処を支援するセキュリティプラットフォームです。生成 AI による調査支援や、監視設定を再利用・展開できる仕組みなどを備え、MSS 事業者が複数の顧客にサービスを提供する際の運用負荷やコストの低減に貢献します。

1. 日本語でログ分析、AI 活用で調査工数を削減しアナリストの稼働を最適化

検索クエリを書き慣れていない担当者でも、「直近 24 時間のログイン失敗を送信元 IP ごとにグラフにして」のように日本語で指示するだけで、生成 AI がログの検索・集計・可視化を実行し、表やグラフで結果を提示します。アラート調査では、関連ログの分析結果や根拠を整理して提示し、調査の過程も確認できます。これにより、繰り返し発生する調査や情報収集の負荷を軽減し、MSS 事業者のアナリストが高度な分析や判断に集中できる環境づくりを支援します。

2. 導入・展開を効率化し、サービス利用の拡大に対応

一度作成した監視設定を Integration（設定のパッケージ）として再利用できるため、MSS 事業者は新たなエンドユーザーへの監視サービスの展開を効率化できます。

3. 基盤の保守・管理負担を軽減し、運用の容易性を向上

基盤は SaaS で提供するため、サーバの増強やソフトウェアの更新は S&J が担い、MSS 事業者は基盤の保守にかかる負担を軽減できます。また、ログの取り込み時に形式を定義する必要がなく、機器の更新などで形式が変わっても再取り込みは不要です。分析用の定義も後から修正でき、蓄積済みのログに反映できるため、継続的な運用に伴う作業負荷の低減にも貢献します。

4. 基盤コストを抑制し、サービスの利益率向上に貢献

基盤費用は大手クラウドベンダー製 SIEM の約 3 分の 1 以下（※3）で、365 日分のログ保管に対応しています。利用規模に応じた料金プランを用意しており、Small プランは月額 4 万円（税抜）から利用可能です。コストを抑えながら収益性の高い MSS の提供を支援します。

エンドユーザー向けには、1 年分のログ調査や Playbook による対応自動化を備えた監視サービスとして提案できます。

「CSIRT-Pro パートナープログラム」の概要

プログラム名	CSIRT-Pro パートナープログラム（シーサート・プロ パートナープログラム）
受付開始日	2026 年 11 月 5 日（木）
対象者	・セキュリティ監視サービス(MSS)を提供する事業者 ・新たに提供を検討している事業者
主な提供内容	・MSS 事業者向けの専用価格体系 ・サービス紹介資料／トレーニング資料の提供 ・体制などに応じて、技術支援 ・導入／移行支援、利活用支援を提供（有償）
料金について	・エンドユーザー環境と MSS 事業者環境向けに利用量別プランを用意 ・顧客環境へのログ検索／生成 AI 利用は MSS 事業者側で計上 ・Small プランは月額 4 万円（税抜）から
受付方法	専用 Web ページにて受付 ※問い合わせ状況により、案内に時間を要する場合があります。
専用 Web ページ	https://www.sandj.co.jp/partner-csirt-pro/

（※1）企業や団体に代わって、ログやアラートの監視、分析、インシデント発生時の初動対応などをサービスとして提供する事業者。

（※2）警察庁「令和 8 年上半期におけるサイバー空間をめぐる脅威の情勢等について」(2026 年 9 月)による。

（※3）主要クラウド型 SIEM において 1 日あたり 50GB のログを 1 年間保管・検索した場合の標準的な公表料金と、CSIRT-Pro「Medium プラン」の費用を比較した当社試算に基づきます。

※問い合わせには順次対応いたします。支援内容は取り扱い予定案件や体制などを踏まえて個別にご案内します。なお、問い合わせ状況によっては、資料提供を中心とした支援となる場合があります。

■ S & J 株式会社について

S&J は、サイバー攻撃や内部関係者による情報漏えい等の内部犯行など、情報セキュリティは経営課題として認識されてきている状況下、「防御・検知・対処」や「技術・体制」のバランスを重視した製品やサービスを提供しています。

SOC（Security Operation Center）は、従来のアラート監視での脅威お知らせサービスに加え、顕在化した脅威による顧客環境での高度な影響分析やトリアージをアナリストが行い、影響に応じて事故の封じ込めのハンドリングやフォレンジックまで迅速な対応をすることにより、業務継続と再発防止策を支援しています。

商号	S & J 株式会社

所在地	〒105-0004 東京都港区新橋一丁目１番１号 日比谷ビルディング 8F
設立	2008 年 11 月
資本金	4 億 4162 万円
代表者	代表取締役社長　三輪 信雄
事業内容	サイバーセキュリティ事業 ・セキュリティ監視／運用 ・コンサルティングサービス ・セキュリティ事故対応
Web サイト	https://www.sandj.co.jp

■プレスリリースに関するお問い合わせ

S & J 株式会社 広報担当　E-mail：pr@sandj.co.jp / TEL：03-6205-8500（代表）

＝＝

※本リリースのすべての内容は、作成日時点でのものであり、予告なく変更される場合があります。
　また、様々な事由・背景により、一部または全部が変更、キャンセル、実現困難となる場合があります。予めご了承ください。

＝＝

※本文中に記載されている会社名および製品名などは、各社の登録商標または商標です。
※CSIRT-Pro は、S & J 株式会社の登録商標です。